2018.08.29

2018年8月25日（土）　チーム神於山　活動報告

シャープ社友会
チーム神於山 真砂 記

■活動日：2018年8月25日（土）　9：00～12：00
■参加者：チーム神於山 正会員　10名
■活動内容
- 今回の活動目標は、台風の被害状況の確認と、7月14日以来久々の活動となった為 草茫々状態に戻っている記念樹ゾーン・暗渠回り・多目的広場の草刈り、及びミカンの苗木に8月分の施肥を行い、“ミカンハモグリガ”対策の防虫剤の散布を行なうこと、の3つでした。
- 台風の被害は、一番心配した 植えたばかりのミカンには無く、また記念樹ゾーンの木々にも無かったのでホッとしましたが、クリの実が風でほとんど落果していました。
  完熟まであと一歩のところでの被害で、今年の収穫が難しくなったのが非常に残念です。
- 草刈りは順調に進み、当初は‘出来れば’の範囲で考えていた多目的広場もほぼ刈り終えることが出来ました。
- ミカンの木の施肥と防虫剤の散布も、原・岡森ペアで完了。活動頂いた10名の皆さん、お疲れ様でした。
- 上部植栽地は今回確認できませんでしたが、基地から少し上がった場所に植えたクヌギ（多分）が、真っ二つに折れていましたから、沢筋をかなり強い風が吹き抜けたのは間違いないと思います。
- 次回からは、フクロウの営巣準備に備え、上部植栽地の草刈りと間伐がメインテーマになります。
  別途ご案内しますので奮ってご参加ください。

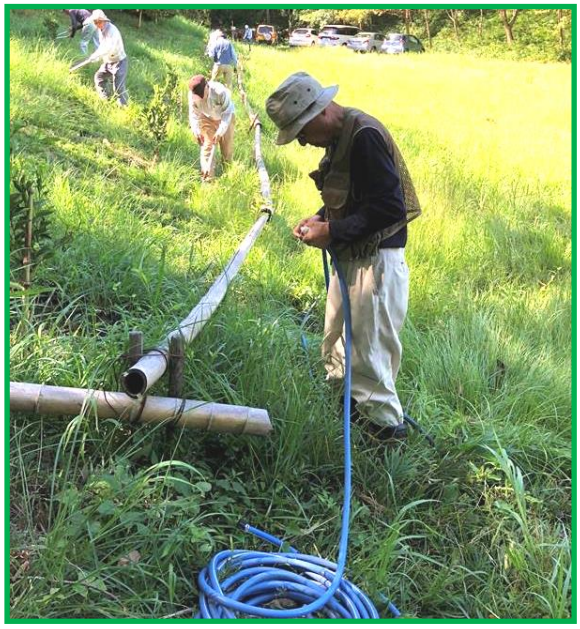
■記念樹ゾーン・多目的広場・暗渠回りの草刈り　before／after

・記念樹ゾーン：ミカンの木の回りは丁寧に鋏で刈り込みました。

・多目的広場：刈払機3台がフル活動。再びスッキリしました。

・暗渠回り：ミカンの木も、暗渠も、草に埋もれて見えませんでしたが、元に戻りました。

林道から見た暗渠ゾーン。

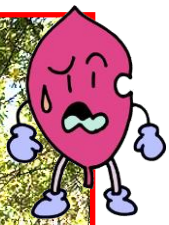


・左の写真は、基地のタンクから、記念樹ゾーンのタンクに水を移す為に、ホースの整理に余念のない香遠さんです。
・今も所、雨水の取水も その貯水も 移動も順調です。

活動頂いた 10 名の皆さん。お疲れ様でした。

・左の集合写真の下は、台風で落下した栗の実を拾い集めたものです。
・栗は、2007 年 11 月に「花と実の成る木」をテーマに行った第 3 回植樹で、大阪府森林組合泉州支店に手配頂いたもので、粒の小さい「柴栗」と聞いていましたが、下の写真の様に大粒の立派なものです。
・試しに剥いでみましたが下のように実は白く、完熟前でした。

■台風の突風で引き裂かれた木。　　栗の実の落果に次いで確認した２番目の被害です。



- 上部植栽地は今回確認できませんでしたが、基地から少し上がった沢筋に植えた幹径 10cm 強のクヌギ（多分）が、真っ二つに折れていました。
- 台風による木の被害でよく見るのは、途中で折れたものや、倒れて根が丸出しになったものですが、これは上から下に、しかもまるで落雷に有ったように、斜めに引き裂かれています。
- 沢筋をかなり強い風が吹き抜けたのは間違いないと思いますが、周りの木には異常がないので不思議です。
- 今後の活動は、フクロウの営巣準備に備えた上部植栽地の間伐と、竹林の整備がテーマになりますが、次回は上部植栽地の草刈りがテーマになりそうです。

以上